



問

中央区画整理地における自然と共生した取り組み
整備手法と効率を考えた、整備手順の検討を進める

豊創会 村上 孝 議員

議員 村の顔となる中丸地区を含めた中央区画整理事業は、自然環境や地区の特性を十分に生かし、さらには本村の核となるような商店街の誘致や、宿泊施設の誘致を積極的に推進するべき。

村長 中央地区は東海駅の東側に位置し、総合戦略においても主な取り組みのひとつ、自然と共生した住環境の魅力づくりと明記した。街の核となるホテルや店舗等が誘致できれば便利な街と機能も高まり、まちの魅力度も増し、定住の促進にもつながる。都市計画法上の用途地域との関係や、需要との関係もあり難しい面はあるが、魅力あるエリアとして早期の事業終結に向け努力していく。



須和間幼稚園

問 健康増進と社会貢献など環境整備も重要である
地域支え合い活動団体の育成に取り組み予定

議員 持続可能な社会の創出とは、健康で働きがいのある社会、安全で

安心な生活の確保、住みよい環境でより豊かな自然の整備など、目指すべき未来があるはずである。本村の田園風景や地域の自然、歴史、文化は財産でもある。地域の特性を生かしたヘルスロードの整備は重要な施策である。歴史と未来の交流館を建設するためにも、親しみやすい地域の特性を生かし、地域の文化交流を進める上でも必要である。

福祉部長 「いばらきヘルスロード」を活用したウォーキングによる運動の習慣化を目的とした「すこやかウォーキング推進事業」において、「安全・安心に健康づくりに取り組めるための環境整備」として、本村の歴史や文化、豊かな自然環境の視点を盛り込んだヘルスロードを新規に開拓するとともに、「ウォーキングを手段とした健康づくり活動の展開」を図っている。村としては、健康づくり活動を通して村民の郷土愛を育むとともに、ウォーキングが地域交流の手段として活用されるよう、より一層の環境整備に努めていく。



とうかい村松宿こども園

問 幼児教育を担う、幼稚園施設整備は欠かせない
ハード面での良質な環境確保を認識している

議員 ゆりかごから幼児教育という考えの下、速やかに予算化し計画的推進を図るべき。

村長 村立保育所、幼稚園施設のあり方、方向性を見直しに基づく事業立案は、早ければ平成29年度予算を目指していく。

議員 本村の諸問題に村長の手腕発揮を期待する。